



成隣だより

令和3年9月30日
第6号
昭島市立成隣小学校
校長 星野 典靖

「しんゆう」を見付けよう

校長 星野 典靖

子供たちが安心して学校生活を送るためには、ともに学び、ともに生活する「友達」との関係をよりよいものにする必要があります。

一言に「友達」といっても、いろいろな「友達」がいます。その「友達」の中で、関わり合い、支え合い、高め合っていくことができる存在が『しんゆう』なのだと思います。

では、「しんゆう」とは、どんな漢字でしょうか？辞書を引くと『しんゆう』は「親友」という漢字で表し、「仲のよい友達」という意味であると書かれています。

担任時代、道徳の学習の中で「信頼・友情」の価値を取り上げ、『しんゆう』について話し合ったことがあります。そして、「親友」以外にもいろいろな『しんゆう』がいることが分かりました。

(実際にはない言葉ばかりですが、授業の中で子供たちが考えた『しんゆう』です。)

心友……心と心でつながっている友達

深友……深い付き合いのできる友達

新友……新しく出会う友達

真友……本当の友達

森友……森のように包み込んでくれる友達

伸友……お互いを伸ばしていける友達

審友……互いに認め合える友達

信友……お互いを信じ合える友達

辛友……辛いことを分かち合える友達

清友……清々しい気持ちで触れ合える友達

進友……ともに進んでいける友達

慎友……はめをはずしすぎない友達

申友……何でも言い合える友達

身友……身体のことを気遣える友達 等々

これ以外にも、いろいろな『しんゆう』がいるはずですよ。

子供たちにとっての『しんゆう』を、一人でも多く見付けられるように、しっかりと見守り、指導して参ります。

【開校記念日について】

10月8日は成隣小学校の開校記念日です。令和3年度は、明治6（1873）年5月に大神村観音寺を借りて校舎にあて「執中学舎」と称してから149年目、創立148周年になります。そして、令和5年度が昭島市立学校では初めての150周年となります。明治6年は、今年の大河ドラマの主演の渋沢栄一は33歳で、大蔵省を辞めてから第一国立銀行を開業し、のちの王子製紙を創立した年なのだそうです。（このエピソードは、今後ドラマの中で取り上げられます。）大河ドラマを見ながら開校当時の日本を学んでみるのもいいですね。（ちなみに渋沢栄一を演じる俳優の吉沢 亮さんは昭島市の出身です。）

そして、明治9年8月から使われている「成隣」は、当時の学校後見職だった窪 素堂先生の「一石を池水に投ずれば波紋生ず。今ここに一校を成す、教化必ず四隣に及ばん」の言葉から命名されました。